

UCLG-ASPAC カンファレンス、執行理事会の開催

1 UCLG-ASPAC (United Cities of Local Governments Asia Pacific)

UCLGは国際的な地方自治体の連合組織であり、会員同士の情報交換や相互協力、各種研修プログラムの実施を通して、地方自治の強化や地方分権の推進、地方自治体の能力向上を図っている。加盟団体は世界136の国と地域から、約2,500団体に上っています。日本からは、浜松市とCLAIRが会員となっており、アジア・太平洋支部であるUCLG-ASPACに所属しています。

当シンガポール事務所から、2010年6月24日(木)に執行理事会の事前イベントとしてバタム島で開催されたカンファレンス(テーマ:「地方経済の振興及び投資戦略」)に参加するとともに、6月28日(月)にシンガポールで開催された執行理事会に出席しましたので、その概要を報告します。

2 カンファレンスの概要

リアウ州副知事 Muhammad Sani 氏、ジャカルタ首都特別州知事 Fauzi Bowo 氏の挨拶に続き、「自由貿易圏」と「観光振興」をテーマに、各国における具体的取組の事例発表が行われました。

(1) 自由貿易圏 (FTZ)

「自由貿易圏 (FTZ)」とは関税の廃止や輸出入手続きの簡素化等により、貿易拡大を図っている地域のことです。

今回は、インドネシアの「バタム・ビンタン・カリムン自由貿易圏」、フィリピンの「スービックベイ自由貿易圏」(オロンガボ市)の事例発表が行われました。

FTZ 周辺の地方自治体は、投資の拡大や雇用の創出といった貿易による直接的な利益、住民の生活水準の向上といった間接的な利益を享受できており、また、経済の活性化が地域の観光客増加にも繋がっているといえます。

ただし、FTZ の構築は、関税や輸出入手続きといった中央政府が関わる事項が多く、地方自治体の意向のみでできるものではないことから、中央政府と十分に連携して施策を進める必要があるということでした。

(2) 観光振興

インドネシア、ネパール、カンボジア、タイ、ニュージーランド、マレーシア、韓国における、地方自治体レベルでの観光振興の取組みが紹介されました。観光振興における地方自治体の役割として、インフラの整備、安心して旅行できるような治安の確保、エコツーリズムの意識の高まりに伴う自然環境の保全、住民のホスピタリティの育成等が挙げられていました。



カンファレンスの様子 (FTZ)



カンファレンスの様子 (観光振興)

観光振興は、いわゆる観光産業だけでなく、建設業やその他のサービス業の雇用拡大につながることで、また、特に東南アジア地域においては貧困の軽減に資するものであることから、旅行者が魅力を感じるような街づくりに地方自治体としても取り組む必要があるとのことでした。

今回のカンファレンスのテーマは「地方経済の振興及び投資戦略」であり、事例発表が行われた「自由貿易圏」「観光振興」はともに地方経済振興のために有用な施策です。UCLG-ASPACとしては、今後、地方経済振興のための部会を設置し、定期的な情報交換や協議を行なうことを検討したいとのことでした。

3 執行理事会の概要

カンファレンスの翌週、6月28日（月）に、シンガポールのサンテック・シンガポールにおいて執行理事会が開催され、UCLG-ASPACにおける諸問題及び今後の運営について協議が行われました。当日は事務局を含む61名の参加があり、当協会も国際組織会員として出席しました。

会計報告等に続き、現在、日本の地方自治体として唯一の会員である浜松市の鈴木康友市長より、今秋10月19日（火）から22日（金）に開催される予定の「UCLG-ASPAC コングレス 2010」の概要について、プレゼンテーションが行われました。

コングレスは2～3年に一度開催されており、タイ・パタヤ市で2008年に開催されて以来、通算3回目の開催となります。浜松市は、2008年に次期UCLG-ASPAC コングレスの開催地に立候補し、同年のASPAC 執行理事会において、開催地に選出されました。今回、日本では初開催となります。

コングレスでは、アジア太平洋地域の19カ国・125の地方自治体・地方自治関係団体が集まり、講演やセッションを通じ、地方自治体が抱える共通の課題等について話し合い、情報交換等が行われる予定です。今回は、「グローバル化への対応」をメイン・テーマに、セッションでは「多文化共生」「気候変動」「地域資源を活用した観光振興」「経済分野における都市間連携」についてそれぞれ議論されます。また、開催地の浜松市の産業、環境、歴史、文化を体験・視察するスタディツアーや、日本文化の体験プログラムも併せて実施されます。

今回のコングレスには、会員以外の自治体も参加可能なことから、浜松市では開催規模を約300人前後と予測し、活発な議論・意見交換を期待しているとのことでした。

また、当理事会において、2011年1月より静岡市がUCLGに加盟予定であることも発表されました。これで、日本におけるUCLG加盟都市は2都市となります。

なお、「UCLG-ASPAC コングレス 2010」の具体的な内容についてはホームページ（<http://www.uclg-aspac2010.org/jpn/index.html>）をご参照ください。

（UCLG-ASPAC カンファレンス及び執行理事会参加時聴取、報道発表資料等を参照）

（大塚所長補佐 長崎市派遣）

（片野田所長補佐 鹿児島県派遣）



鈴木市長によるプレゼンテーション